



◆◆アジアが欧州を超越す  
昨年のカナダの輸出

昨年カナダの対外輸出は、七・六パーセント増と先進工業諸国の中では最大の伸びを示したことが、国際通貨基金（IMF）の調査で分かった（日本は六・二パーセントの増大、米国は五・五パーセントの減少）。

輸出額、伸び率とも最も大きかったのは米国向け。カナダの昨年の輸出総額八百八十四億二千六百万ドルのうち、対米輸出は六百四十四億八千八百万ドル（七二・九パーセント）を占めた。八二年と比べておよそ一五パーセントの増大である。対米輸出のうち最も大きいのは、米加自動車協定に基づく乗用車やトラック（完成品）の輸出（百三十五億ドル）と林産品

カナダの主要輸出相手地域(1983年)		対前年比(%)
(単位100万ドル)		
米国	64,488	+15
西ヨーロッパ	7,547	-11
英国	2,446	-8
西独	1,156	-6
東ヨーロッパ	2,109	-18
東中東	1,412	-22
アジア	934	-19
日本	8,630	+7
中国	4,734	+4
南米	1,605	+1
中米	1,318	-12
太平洋地域	1,412	-4
合計	88,426	+8

その他の地域では、英国および西ドイツを中心とする西ヨーロッパ向け輸出が一パーセントも落ちて七十五億四千七百万ドルに減ったのに対し、逆にアジア向けは七パーセント増えて八十六億三千万ドルに達した。カナダの市場として、初めてアジアが西ヨーロッパを追い越したわけである。そのうち、対日輸出は四十七億三千万ドル（四パーセント増）、中国向けが十六億五百万ドル（三・一パーセント増）であった。

(九十六億ドル)。

東欧、中東、南米および中米向けの輸出は、いずれも減少した。ヨーロッパ市場における経済活動の停滞化と保護主義の台頭、アジア地域における急速な経済成長と今後の可能性を考慮すると、カナダの対外貿易に占めるアジアの比重は、ますます高まっていくものと予想される。

◆◆電話による電子郵便  
テレコム社が開発

テレコム・カナダ社（本社トロント）は、既存の電話回線を使って高速で通信文を送ることができ、世界初の商業用テレテキスト・システムを開発した。これは電話でお互いのワードプロ

◆◆糖尿病の治療に朗報  
実験で大きな効果

世界的なバイオ技術研究所として知られるコンノート研究所（トロント近郊）とウエスタン・オンタリオ大学の大学院で、それぞれ別個に糖尿病の画期的な治療法が発見された。

糖尿病患者のすい臓は、血中の糖分を制御するインシュリンを作ることができない。これまでに、体外からインシュリンを投与することによって、悪化を防いでいる。しかしそれでは、死亡はくい止めても、網膜症や腎障害、心筋梗塞などの合併症を防げない。そこでコンノート研究所で、ブラスチックでくるんだ細胞を糖尿病のねずみに注入してみたところ、インシュリン注射よりはるかに効

果があることが分かった。ブラスチックにくるんだ細胞がインシュリンを分泌する健康なすい臓の役割を果たすだけでなく、血液糖分を正しく調整するのに必要なホルモンを分泌する器官をブラスチックですつぽりおおうため、合併症が起らないという。

この治療法が開発されれば、糖尿病に苦しんでいる何万という人々が注射針と合併症から解放されることになる。

一方、ウエスタン・オンタリオ大学の大学院では、昨年、きわめて重症だと診断された三十人の糖尿病患者に毎日、サイクロスポリンという薬剤を投与したところ、十六人がインシュリン注射が必要でなくなるまでに回復し、あとの十四人についても大半が少量の注射で済むようになった。

同大学院のステイラー博士によると、これは糖尿病が治癒されたのではなく、血液の糖分を調節

Connaught Laboratories



コンノート研究所のアンソニー・サン博士(左)は、糖尿病研究の第一人者である。

◆◆二酸化硫黄の排出量を半減  
酸性雨対策でカナダが決定

森林や水産資源、飲料水あるいは建造物などに害を与える酸性雨が世界各地で問題になっているが、カナダでは、連邦政府が各州政府と共同で、酸性雨の原因である空气中に排出される二酸化硫黄の量を、一九九四年までに現在の半分に減らすことになった。

三月にオタワで開かれたカナダと欧州九か国の環境問題担当閣僚会議では、酸性雨被害防止のため、一九九三年までに各国の硫黄酸化物排出量を少なくとも三〇パーセント減らすことを決議していた。カナダの目標は、それをはるかに上回ることになる。

カナダはまた、同国に降る酸性雨の半分は米国中西部の工業地帯が発生源だとして、米国政府にも強く規制を求めていたが、四月初めに両国間でこの問題に関する条約が締結された。

酸性雨問題に本格的に取り組むことになったカナダ政府によると、国内の主な汚染源はニッケルやアルミの精錬所と石油や石炭を使う発電所。これらの精錬所や発電所を中心に二酸化硫黄の排出量を大幅に削減するのがカナダ政府や州政府の意向だが、そのためには排煙脱硫装置の設置や、石油や石炭